

## 第2回臨時教育研究審議会

### 議事概要

開催日：平成26年3月19日（水）

場 所：本部棟3階大会議室

出席者：加藤祐三学長、高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長、浅川博理事、大平栄子学長補佐、田中昌弥学長補佐、清水雅彦学長補佐、阿毛久芳大学院研究科委員長、寺川宏之初等教育学科長、牛山恵国文学科長、竹島達也英文学科長、横田力社会学科長、杉本光司地域交流研究センター長、新保祐司国際交流センター長、鶴田清司キャリア支援センター長、小林正人学生課長、重原達也総務課長

#### ■挨拶

加藤祐三学長よりあいさつ

### 議 事

#### (1) 教員配置計画について（継続審議）

○各学科より資料1、資料1-1～1-5に基づき説明。

3/26までに各学科で改善点等をA4用紙1枚で書き、学長へ提出してほしい。また、社会学科と比較文化学科については、あり方検討委員会のようなものを行う必要があるかも知れない。

##### ・資料1-1 初等教育学科

H26年度人事として国語教育学、楽器（ピアノ）の採用を検討している。

##### ・資料1-2 国文学科

H26年度人事として国語教育学、国語学（近代）、近代文学、国語科教育法（特任）の採用を検討している。

##### ・資料1-3 英文学科

H26年度人事として、英語学・言語学系、ネイティブの教員（特任2名）の採用を検討している。

##### ・資料1-4 社会学科

H26年度人事として、人文地理学はすでに公募が始まっている。地方自治論については学長裁量計画（推薦公募）として公募が決まっている。昨年度人事で公募をした民法・環境法は、環境法としてカリキュラム改訂を行いたいと考えている。

社会科教育法を新ポストとして必要性が教育研究審議会でもでていますが、できれば専任として採用をしたいが特任としての採用も考えている。

##### ・資料1-5 比較文化学科

H26年度人事として、今年度見送りとなった国際社会論、他科目で1名、英語系（特任）の採用を検討している。

\* 共通教育についてもこのままでいいのか、今後どのようにしていくのか考えていく必要がある。

#### (2) 自己点検・評価実行委員会規則の全部改正について

○担当より資料2に基づき説明、審議の結果、一部修正し承認。

第4条(4) 専攻科委員長→文学専攻科委員長へ修正